

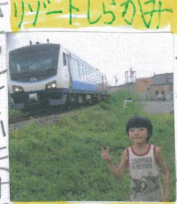
母の故郷 五能線を訪ねて



五能線新聞

宮川 力輝

五能線は、秋田県能代市の東能代駅から青森県の五所川原駅、川部駅までの四七、二kmを結びJR線のことです。青森県西海岸に沿って走り、一九三六年全通。九七年には陸奥鉄道が国有化されました。運転路線の状況は、深浦駅を境に区分されます。東能代側では一時間あたり一本程度運転されていて、海沿いを走るため吹雪・強風・高波により、運休が年に数回あります。川部側では二時間に一本程度運転されています。東能代駅から能代駅までの区間列車は全列車においてワンマン運転が行われています。水木かおりという人が「五能線」という曲を歌っています。



環境にやさしい
リゾートしらがみ

五能線のリゾートしらがみは、ディーゼルエンジンとリチウム蓄電池によるモーターで動いています。これをハイブリッド気動車といえます。このようなシステムは、平成三年に導入されたのが、快適な旅線が実現しました。

五能線を走る観光用車両で「青池」「アナ」「くまげら」の三編成が活やくしています。青池は一九九七年に登場。日本海の水平線に「青池」と「十二湖の神秘的な青池」と「明るい青色」という青を基調にした色合いになっています。室内は全体をオフホワイトでまとめ、床はホルク調で素材感を出しています。



青池
アナ
くまげら

鯨ヶ沢でわざわざお会いできてきました

二〇二二年に映画デビューをして人気者になったブサかわ犬わさおに鯨ヶ沢駅で下車して会いに行きました。わさおは、思ったよりずっと大きくて、毛がフサフサです。きくやかわいかったです。きくや商店の名物の焼きイカは、最高に美味しかったです。

アナは二〇〇三年に登場。世界の深い緑のイメージを車体色として、夜間は天井部分の間接照明によって星空のイメージを映し出しています。くまげらは二〇〇六年に登場。車両のデザインは白神山地に生息するくまげらと五能線沿線の夕陽をイメージしています。



運転士さんにインタビュー

Q この仕事をしたいですか？
A 無事故で今日一日をおえたことです。

Q 運転している日ごろの心構えを教えてください。
A お客様を無事故でゆそつすることです。



社説
ぼくは夏休み、母の実家の青森に旅行しました。五能線は力がかい、ぱいあり窓から見える景色は、一生忘れられないほどの美しさでした。今まで鉄道に関心はあまりなかったけれど、運転士さんになってみたいですね。また行ってみたいです。

Q これからの意気込みを教えてください。
A 五能線をこの先永遠に走らせて行きたいです。
運転士の田村さんありがとうございました。